

# 紫峰の風

shihou no kaze

## 筑波大学

University of Tsukuba

### 第24号 2022年4月

「紫峰の風」は学生生活の様子や活動の報告を紫峰会基金協力者の皆様にお届けする広報誌で、紙面の企画や記事の取材等は学生広報会議や広報部会の学生が実施しています。この名称には「筑波の峰から吹き降る風に、我々の活動への想いを乗せて、全国の皆さまのもとへお届けする」という意味が込められています。

## 筑波大学紫峰会基金にご寄附いただいている皆様へ

### ～学長からお礼のメッセージ～

日頃より筑波大学の活動にご理解をいただき、誠にありがとうございます。保護者のみなさまにおかれましても、厳しい社会情勢が続くなか、大変多くの皆様から「筑波大学紫峰会基金」にご寄附を賜り、心よりお礼申し上げます。

本学では、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症蔓延の影響下にあっても、学生の課外活動や学生生活が充実したものとなるよう、より一層支援を続けてまいります。また、本学は来年、国立大学では最初に創基150周年を迎えます。保護者のみなさまにおかれましては、本学の活動へのご理解ならびに学生への温かいご支援のほど、引き続きよろしくお願い申し上げます。



筑波大学長 永田 恭介



永田学長による式辞

#### 令和3年度 筑波大学卒業式・大学院学位記授与式

3月25日、令和3年度筑波大学卒業式・大学院学位記授与式が大会館講堂で挙行了されました。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、式典の出席者は卒業生・修了生のみとなりました。

やわらかな春の日差しが心地よく降り注ぐ中、午前の学群卒業式では学群卒業生2,208名および医療科教員養成施設卒業生17名、午後の大学院学位記授与式では大学院修了生2,129名が新たな一歩を踏み出しました。



大会館講堂で挙行了された式典の様子

#### 令和4年度 筑波大学入学式・大学院入学式

4月5日、令和4年度筑波大学入学式・大学院入学式が大会館講堂で挙行了されました。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、式典の出席者は新入生のみとなりました。

桜満開の晴れ渡る空の下、午前の学群入学式では、学群生2,252名および医療科教員養成施設入学生15名、午後の大学院入学式では大学院生2,480名が入学し、新たな学生生活のスタートを切りました。

#### 今後の主な予定 (変更になる場合があります)

春季スポーツ・デー	5月14、15日(予定)
春Aモジュール期末試験	5月24日
春ABモジュール期末試験	6月29日～7月5日
春ABCモジュール期末試験	8月3日～8月9日
同(東京キャンパス・夜間)	7月30日、8月2日～8月5日
春学期授業終了	8月9日
同(東京キャンパス・夜間)	7月29日
期末試験予備日	8月10日
同(東京キャンパス・夜間)	8月6日
春Cモジュール期末試験	8月10日
夏季休業	8月11日～9月30日
同(東京キャンパス・夜間)	8月9日～9月30日

#### —内容—

キャンパスニュース、学生の一週間、留学情報	1頁
学生生活課より、筑波大学の就職支援、学生相談室から、	
桐の葉日記、紫峰ギャラリー、お知らせ	2頁
特集、芸サ連、体育会活動紹介	3頁
全代会、文サ連、医学部会紹介、紫峰会基金より	4頁

## キャンパスニュース

### つくばリサイタルシリーズ

1月23日、つくばカピオホールにてコンサート「第11回つくばリサイタルシリーズ2台ピアノで奏でるオーケストラ～名曲を旅する～」が開催されました。「つくばリサイタルシリーズ」は、筑波大学の有志学生が主体となって企画・運営しているコンサートです。市民や学生の皆さまに、身近に本格的なクラシック音楽に触れてもらいたいという願いで活動しており、毎年つくばの地に一流の演奏家を招聘しています。

第11回目となる今回は、国内外で高い評価を受けているピアノデュオ、中井恒仁・武田美和子夫妻によるピアノ演奏をお届けし、多くの学生、幅広い年齢層の方々からご好評いただきました。コロナ禍による不透明な状況の中で1年間、約20名の実行委員会でオンラインでのやり取りを重ねながら準備したコンサートが無事に開催できましたこと、そして、ご協力いた

だいたの方々、ご来場いただいた皆さまに、委員一同誠に感謝しております。

新年度からは、新たな試みとして年に2つのコンサートを行おうと計画しており、来たる5月29日にはつくば市アルスホールにて、茨城県出身で現在欧米やアジア各国でも活躍中のサクソフォン奏者、塙美里氏によるリサイタルを予定しております。

本事業は「アイラブつくばまちづくり支援事業」に採択され、つくば市より支援を頂いております。今後とも音楽を楽しむ環境の提供、つくばの豊かな文化的発展に貢献できるよう、活動に邁進していく所存です。

(寄稿/つくばリサイタルシリーズ実行委員会 佐藤祐人・人文学類3年)



つくばリサイタルシリーズ 2022年1月23日撮影



2台ピアノによる演奏 2022年1月23日撮影

### 新入生歓迎祭

毎年、筑波大学では4月から5月にかけて大規模な新入生歓迎活動(通称、新入生歓迎祭)が行われます。今年度は大学や県が発信するガイドラインに基づき感染防止対策を徹底した対面形式に昨年度のノウハウを生かしたオンライン形式を加え、対面とオンラインのハイブリット新歓を計画しております。※感染状況によってはオンライン形式のみでの開催となります。

2年にわたるコロナ禍により、筑波大学の多くの学生団体は活動頻度の低下や運営規模の縮小を余儀なくされています。解散することになった学生団体も少なくありません。私が所属していた筑波文学の会(文化系サークル)もコロナ禍における新歓活動の苦戦から会員不足に陥り、解散することになりました。コロナ禍の影響は学生団体にとどまらず、新入生歓迎祭やスポーツ・デー、雙峰祭といった学生組織が主体となるイベントにも及んでいます。学生組織の構成員の中心となる現2、3年生は対面形式でのイベントをほとんど体験したことがありません。私が所属する新入生歓迎祭推進委員会もほとんどが2、3年生から構成されており、新入生歓迎祭の具体的なイメージが掴めない状態で準備を行うことになりました。

筑波大学の課外活動は今、大きな危機に直面しています。伝統ある学生団体や学生組織の存続のために、そしてなりより新入生が自分の個性や興味にあった学生団体を見つけ出し充実したキャンパスライフを送れるように、新入生歓迎祭推進委員会一同精一杯努めてまいります。

(寄稿/2022年度新入生歓迎祭推進委員会委員長 小村心人・生物学類3年)

### 筑波大学のスクールカラーについて

本学の校章といえば紫色の桐の葉であることはご存知かと思いますが、この色については筑波大学校章等規則において以下のように定められています。

「筑波大学を象徴する基本色(スクールカラー)は、「つくば紫」(CLASSIC PURPLE)とする。準基本色(準スクールカラー)は、「つくばブルー」(FUTURE BLUE)とする。」

筑波山の雅名である紫峰を思い出させるような高貴な紫と、遙かな空のように広がるライトブルーの色は、構内各所や課外活動団体のユニフォームや腕章に鮮やかに用いられており、筑波大生としての連帯感が高まるように思います。



構内の上り旗

モデル: 応援部WINS

## 学生の一週間

ここでは実家から通学している2年生と、一人暮らしをしている4年生の昨年度の1週間を紹介します。

### 2年 Oさん 昨年度1年時の春Aモジュール(4~5月)

地球学類に所属するOさんの履修科目は全てオンラインで実施されました。両親のいる実家で生活し、家事面での余裕があるため、放課後の時間を活かして秋以降に大学で入ろうと考えているサークル費を貯金するため、積極的にアルバイトをしました。

	月	火	水	木	金	土	日
6	睡眠						
7	睡眠						
8	オンライン授業	オンライン授業	睡眠	課題・自由時間	自由時間	課題・自由時間	自由時間
9			自由時間	自由時間	自由時間		
10			オンライン授業	オンライン授業	オンライン授業		
11			オンライン授業	オンライン授業	オンライン授業		
12	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	アルバイト	アルバイト
13	課題・自由時間	昼食	昼食	課題・自由時間			
14	オンライン授業	課題・自由時間	オンライン授業	オンライン授業			
15		自由時間	自由時間	自由時間			
16	オンライン授業	課題・自由時間	オンライン授業	オンライン授業	アルバイト	自由時間	自由時間
17	アルバイト	アルバイト	アルバイト	課題・自由時間	アルバイト	自由時間	自由時間
18		アルバイト	アルバイト	課題・自由時間	アルバイト	自由時間	自由時間
19		夕食・風呂	課題・自由時間	夕食・風呂	課題・自由時間	夕食・風呂	夕食・風呂
20	夕食・風呂	課題・自由時間	課題・自由時間	自由時間	課題・自由時間	自由時間	課題・自由時間
21		課題・自由時間	課題・自由時間	自由時間	課題・自由時間	自由時間	課題・自由時間
22	課題・自由時間	課題・自由時間	課題・自由時間	自由時間	課題・自由時間	自由時間	課題・自由時間
23	課題・自由時間	課題・自由時間	課題・自由時間	自由時間	課題・自由時間	自由時間	課題・自由時間
24	睡眠						
1	睡眠						
2	睡眠						
3	睡眠						
4	睡眠						

### 4年 Wさん 昨年度3年時の春Aモジュール(4~5月)

地球学類に所属するWさんは、水、木、金に2時限連続の実習があり、課題などは提出の前日(次回授業まで)に行っており、その分休日は休息をとり趣味やバイトで過ごしています。趣味はラジオ聴取、漫画、ゲーム実況視聴が大半を占めています。

	月	火	水	木	金	土	日	
6	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	
7	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	
8	起床・朝食	対面授業	起床・朝食・支度	起床	オンライン授業	起床・朝食	起床・朝食	
9	対面授業	課題	オンライン授業	食事	対面授業	起床・食事	起床・朝食	
10	対面授業	昼食		対面授業	対面実習	対面実習	起床・食事	課題
11	オンライン授業	オンライン授業	対面実習	対面実習	課題	身支度・移動	昼食	
12	趣味・課題	課題・移動	対面実習	対面実習	課題	アルバイト	趣味	
13		対面授業	対面実習	対面実習	趣味・移動		趣味	
14	サークル活動	趣味・移動	趣味・移動	趣味	趣味		アルバイト	アルバイト
15		アルバイト	サークル活動	夕食	サークル活動		アルバイト	アルバイト
16		アルバイト	サークル活動	夕食	サークル活動	アルバイト	アルバイト	
17	夕食	夕食	夕食	課題	夕食	夕食	夕食	
18	課題	夕食	趣味	課題	趣味	夕食	夕食	
19		課題	趣味	趣味	趣味	趣味	趣味	趣味
20	家事・就寝	家事・就寝	家事・就寝	家事・就寝	家事・就寝	家事・就寝	家事・就寝	
21	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	
22	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	
23	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	
24	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	

## コロナ禍での国際交流

スチューデントサポートセンター国際交流支援室

本学は開学以来、「開かれた大学」という理念のもとに、国際交流を積極的に促進しています。しかしながら、現在は、長引く新型コロナウイルス感染症への対策により、留学生の受入れ及び協定校への派遣がともに停滞している状況です。対面授業がなくなり、課外活動が制限を受けるなど、多くの学生が多大な影響を受ける一方で、国際交流の新しいあり方としてオンラインプログラムが活用されています。今回は、筑波大学スチューデントサポートセンター国際交流支援室が実施するオンライン学生交流プログラム及び海外英語研修(オンライン)についてご紹介いたします。

### 【オンライン学生交流プログラム】

ZoomやoViceといったオンラインミーティングプラットフォームを利用して、多数の学生が自国から参加し、交流をするプログラムです。主要なものに以下があります。



Tsuku-Chat

2020年11月より開始したオンライン英語チャットプログラムです。長期休暇期間を除いた毎週水曜日19時より1時間を実施しています。様々な国から参加があり、全体で話題を共有した後、少人数グループに分かれるので、会話はとても盛り上がります。これまで37回開催し、延べ4,681名が参加している人気プログラムです。

その他にも学生向け国際交流オンラインイベントを多数実施しています。スチューデントサポートセンター国際交流支援室ウェブサイトにて随時発信しておりますので、ご活用ください。  
<https://ssc.sec.tsukuba.ac.jp/ssc-top/ies-top>

### 【海外英語研修(オンライン)】

例年、夏休み及び春休み期間を利用して、英語研修を実施しています。昨年度に引き続き、今年度もオンラインで開催し、英語力の向上や異文化交流・留学に関心のある学生が参加しています。本学の開設する授業科目でもあるため、修了すると3単位取得でき、本学の奨学金「はばたけ!筑大生」(3万円)の支援を受けることもできます。

2021年の夏休みは、オーストラリア・ビクトリア州にある協定校のモナシュ大学で、2022年の春休みは、カナダ・ブリティッシュ・コロンビア州にある協定校のプリティッシュ・コロンビア大学で実施しました。2022年度は現在計画中で、詳細が決まり次第、学生向け掲示板等で案内する予定です。

コースによってはある程度の語学力が求められる場合もありますが、学群や大学院を問わず、基本的には本学学生であれば希望に応じて応募することができます。将来的に長期または短期の留学を目指している皆さん、夏休みや春休み期間の休暇を有意義に過ごしたい学生の皆さんの積極的な参加をお待ちしています。



J-Chat~日本語ではなそ~

日本へ入国できない留学生はもちろん、日本で学ぶ留学生もコロナ禍によって人とのつながりが希薄になってしまっています。「日本語を学んでいるのに、話す機会がない」という声に応え、2021年2月より開始した日本語チャットプログラムです。留学生と知り合いたい日本人学生にも多くご利用いただいています。



G-Chat

国際交流には英語力が欠かせません。そこで、英語力向上のためのプログラムもご用意しています。G-Chatは、学生スタッフを相手に、英語での会話を練習するオンラインチャットプログラムです。グループでの会話には自信がないという方にお勧めです。



## 学生の父母等の皆様へ 正体を隠した悪質な宗教団体の勧誘被害を防ぐために 学生部学生生活課

### 【本学での宗教団体の活動実態】

学生サークル等になりすまして勧誘している宗教団体は、大学周辺のアパート、マンション等の一室や一軒家を借りて活動の本拠地にしています。上級生に言葉巧みに勧誘された新入生は、徐々にマインドコントロールにかかっています。ようやく宗教団体であることを告げられる頃には、マインドコントロールも終わり上級生との信頼関係も構築され活動を続けてしまうようです。2年生になると、今度は自らが新入生を勧誘する側になります。

本学では、勧誘を受けた学生や途中で脱会した学生などから多くの情報を得ておりますが、ある宗教団体では、Web上に「新入生の生活相談」等のブログを作るなど、巧妙な勧誘を続け、新入生を勧誘していることが確認されています。

### 【本学における宗教活動の制限】

一般生活上においては、思想・信条の尊重（信仰の自由）・自治的活動（結社活動や意見表明の自由）を理由なく制限することはできませんが、本学では、『国立大学法人筑波大学学生の活動に関する法人規程』において、学内における特定の政党を支持する政治活動や特定の宗教のための宗教活動を禁止しています。その大きな理由は次の3つの理由からです。

- ①サークル活動であれ、宗教活動であれ、学生の本分である学業を圧迫するのは問題です。宗教団体は、学生に勧誘や献金のノルマを課します。授業時間以外は、朝から夕方までキャンパス内で勧誘を行ったり、夜はアパート等への訪問伝道を行ったり、集会参加の旅費や献金のために膨大な時間をアルバイトに費やしたりすることにもなります。
- ②正体や活動目的を隠し、マインドコントロールを駆使して勧誘を行う団体は、それ自体が個人の自由な意思決定を阻害しているといえます。また、そのような勧誘行為を行う学生も、かつては十分な情報や適切な説明を受けずに入信した被害者であり、勧誘する者、される者とも早期の対応が必要となります。
- ③大学教育、特に1年次、2年次においては、学生の柔軟で自律的な思考能力を涵養することが大きな教育目標です。したがって、この時期に特定の宗教的信条や人生観のみを教え込み、学生の視野と活動を一定の範囲に囲い込むことは教育上問題です。学生自身が自ら選択した結果だとしても、リベラルアーツの考え方や自分が自分らしく生きるといった現代的理念から考えると大いに問題があると言えます。

### 【新入生や就活生がターゲット?】

毎年、入学式後のサークル勧誘時期には「学生サークル」、学生生活に慣れてくると「ゼミや勉強会」、就職活動の時期になると「就活相談」などと称して、宗教団体が正体を隠し、親切・丁寧な声掛けで勧誘活動を行っています。いったん参加してしまうとマインドコントロールが進み入会（入信）に至り、自分の意志で脱会することが難しい団体が多いようです。

正体を隠して悪質な勧誘を行う宗教団体は、右も左も分からない新入生や就活に悩みを抱える学生をターゲットに、一見宗教団体と分からないような巧妙な手口で勧誘を行ってきます。「わたしはそんな変なことにだまされるはずがない」と思っている人ほど要注意です。

本学においては、授業（ファーストイヤーセミナー）や各種配布物、ポスターを通じて注意喚起するなど、その対策に取り組んでいますが、勧誘される側の学生に危機感がないことから、被害に遭う学生が後を絶たない状況です。

### 【勧誘事例】

#### 事例1

学食で福祉サークルを名乗る先輩から勧誘を受け、一度参加した際に優しく迎え入れられた。その後は、毎日電話が来るようになり、風邪をひいて休んだ時には手紙をもらい、感激した。4月後半に1泊2日の合宿に誘われて参加した時に、宗教らしい内容の講義があったため、先輩に「宗教団体ですか?」と尋ねたが、「違うよ。自分を高めるための勉強だよ。」と言われた。しかし、違和感を払拭できず、クラス担任に相談したところ、学生生活課へ相談するよう勧められ、その後、自ら辞める決意をした。

#### 事例2

学内を歩いていた時に、2年生から「人生の目的を考えるサークル」に誘われた。一度は断ったものの、自分の連絡先を教えちゃい、何度も誘われたため参加することにした。毎日、大学の外にあるマンションの1室に通い、「人生の目的」について先輩からの話を聴いた。5月には、「新勧合宿」に誘われ、「仏教に説かれている絶対的幸福」について話をされ、徐々に仏教系の「宗教」であることを告げられるが、優しくしてくれた先輩方を裏切れない気持ちで、そのまま宗教団体に入ってしまった。2年生になるときには、新入生を勧誘する側となってしまった。

### 【最後に】

これまで、信仰の自由を尊重するということから、宗教等の勧誘に対し大学がきちんと対応することが難しい面は確かにありました。しかし、筑波大生として受け入れた以上、学生が悪質な勧誘を行う宗教団体の被害に遭うことのないよう、大学が予防に尽力すべきだということは言うまでもありません。これらの宗教団体の活動について、予防教育や情報を提供し被害を最小限にとどめることは大学の重大な責務です。

本学では全学生向けの広報誌や新入生向けの冊子等でも悪質な勧誘を行う宗教団体に関して再三注意を呼び掛けていますが、巧妙な手口により被害に遭う学生が少なくありません。さらに、令和4年4月からの成年年齢引き下げに伴い、保護者の力が及ばなくなるため、宗教団体の標的になることが懸念されます。

信者になった学生は、家族、友人、先生からの忠告を一切受け入れられなくなってしまい、宗教団体の教えの下に行動し、そして、勧誘する側になってしまいます。

保護者の皆様におかれましては、お子様の帰省や電話等での連絡の際に、不審な勧誘に騙されないように注意を促すとともに、このようなことで困ったときには、直ちに大学の総合相談窓口や学生部学生生活課に相談してください。

※この記事は、個人の信仰を批判するものではなく、正体を隠した悪質な勧誘に騙されないよう注意を促すものです。

- 総合相談窓口 029-853-8430
- 学生部学生生活課 029-853-6092,2245,2246

## 紫峰会基金に寄附して下さった皆さまへ

新型コロナウイルス感染症の対策対応中にもかかわらず、多くのご寄附をいただきありがとうございます。皆さまからいただいたご寄附の全額を課外活動団体援助金等として使用させていただいております。援助金のおかげで活動にかかる負担が減り、学業や課外活動をより充実させることができました。現在課外活動は、通常通りの運営はままならないながらも、出来得限りの感染対策の徹底と注意喚起を講じながら精一杯取り組んでいます。今後も変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

課外活動団体一同

## 就職特集 筑波大学のキャリア形成・就職支援 ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター(DACセンター)/学生部就職課

「キャリア」という言葉を聞いて、どんなことを思い浮かべますか? 職業経歴や仕事人生、時には国家公務員上級職等を指す場合もありますが、昨今では職業にまつわるものだけではなく、過去・現在・未来を含む様々な経験や役割の蓄積である「人生そのもの」という広い概念が一般的になっています。大学生にとっての「キャリア」とは、これまでのそしてこれからの「学生時代の様々な経験・出会い・学びの積み重ね」を含む「学生生活そのもの」です。

筑波大学では、ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター（以下、DACセンター）と学生部就職課が連携し、前述の広い「キャリア」の概念に基づきキャリア形成支援活動を行っています。学生が自分自身で考えながら社会についての視野を広げ、将来に向けて早い段階から少しずつ準備を進めていけるよう、学生の学びとキャリアを関連づけていけるような様々なプログラム（イベントや各種情報提供、個別キャリア相談等）を提供しています。具体的には、学群1年生を対象とした学士基盤科目「キャリアデザイン入門～世界にはばたく未来の自分～」があり、学生一人ひとりが大学生活を積極的かつ有意義に過ごし、その後の人生設計（キャリアデザイン）の準備に不可欠な基礎づくりを目的としています。また、学生時代の経験・出会い・学びを記録に残せるよう本学オリジナルの「つくばキャリアポートフォリオ（愛称：CARIO）」があり、学群1年生にはファーストイヤーセミナーにてこのCARIOの活用方法やワークシートの使い方等グループワークを通して紹介し、自身のキャリアをデザインするサポートをしています。学群生から大学院進学、修了までをフォローするキャリア支援を提供しています。

就職の動向に関しては、2020年3月に、新型コロナウイルス感染症という誰も経験したことのない事態がおこってから、2年。いまだ、新型コロナウイルスは学生の就職活動に影響を与えてい

ます。学生生活や企業等の仕事の現場においてもオンライン活用が広がり、就職活動も変化しました。DACセンター/就職課も、いち早く個別キャリア相談や学内合同企業説明会などの各種ガイダンスをオンライン化して対策し、学生への支援を止めないことを最重要課題として取り組んできました。また、学生部就職課ホームページ（<https://syushoku.sec.tsukuba.ac.jp/career/>）において、コロナ禍での就職活動の最新状況やイベントの情報を学生に伝えています。このように、就職を取り巻く環境は大きく変化しますが、学生の就職活動準備として、経験の棚卸や自身の強み等を把握する自己分析や、業界・企業の研究を行うことの重要性はこれまでと変わりません。最後になりますが、就職内定は人生の通過点であってゴールではありません。DACセンター/就職課では、学生が落ち着いて納得のいく就職活動ができるよう、中長期的な視点に立ったキャリア形成支援を引き続き行っていきます。



新型コロナ感染予防対策を行いながら開催した、オンラインと対面でのハイブリット型イベントの様子 2020年11月21日撮影

若手研究者のためのwebサロンシステム

# PhD×FUTURE.

ピーエイチディーフューチャー

DACセンター/就職課では博士人材の支援にも力を入れて取り組んでいます。2021年11月より本学の博士後期課程に在籍する学生と登録企業をつなぐオンラインマッチングシステムの運用を始めました。

PhD×FUTURE.には、2022年2月25日時点で40社近くの企業・団体の登録があり、学生と企業・団体間の交流も生まれています。研究の分野や職種を超えてあらゆる人材の交流が深まること、そして若手研究者の次世代社会における活躍の場が広がることを、PhD×FUTURE.は目指しています。

<https://syushoku.sec.tsukuba.ac.jp/phd-future/>

### いつでもご相談ください!

#### 人間系 助教 慶野遥香



新入生のみなさん、保護者の皆様、筑波大学へのご入学、ご進学おめでとうございます。新しい環境での大学生活への期待に胸を膨らませると同時に、なかなかコロナの終息が見通せない中、不安をお持ちの方もいらっしゃるのではと思います。

コロナの状況下で大学が新入生を迎えるのは、今年で3度目になります。現時点(3月中旬)で春学期の授業の形式は未決定ですが、オンライン授業もある程度継続されると思われます。オンライン授業は、時間や場所に縛られず、自分のペースで勉強を進められるという利点があり、「やりやすい」と感じる学生も一定数いるようです。

一方で、オンラインならではの悩みことも見られます。まずは、先ほどの利点の裏返しですが、自分から能動的、自律的に授業に取り組むことが、対面授業以上に求められます。新しい環境で、家事や課外活動も含めて生活を作っていく新入生には、時に難題となります。また、教室で授業を受けていれば、周囲には必ずしも真面目なばかりではない学生もいますし、「授業難しくない?」「私も全然わからなかった」というちょっとした会話もできますが、オンライン授業では、「自分だけがついていけないのではないか」という不安を抱きやすいようです。そして、人との交流は、やはり制限があります。クラスの交流イベントやサークルに参加して、仲の良い友人を作っていく学生もたくさんいますが、1回のイベントで思うように打ち解けられなかったり、「サークルのためだけに交通費を使つてつくばに行くのも…」と、活動から足が遠のいてしまった自宅生のお話も聞きます。

何か困ったことが起きた時には、大学の中の様々な相談窓口が利用できます。「総合相談窓口」では、予約なしでカウンセラーが対応しており、学生本人はもちろん、保護者や教職員の方も、心配な学生のことでよく利用されます。「学生相談室」は、原則予約制ですが、一人ひとりに担当のカウンセラーがつき、困っていることを継続的に相談していくことができます。その他、保健管理センターでは内科、整形外科、精神科の医師の診療を受けられます。ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターでは、障がいを抱える学生の支援、ジェンダーに関する相談、就職相談やイベントなどを行っています。留学生相談室では英語や中国語での相談も可能です。

社会的情勢にかかわらず、大学で過ごす数年間は、多くの可能性を秘めた貴重な時間だと思います。嬉しいこともつらいことも含め、学生の皆さんには筑波大学で様々な経験をしてほしいと願っていますし、それにはやはり、見守ってくれる人が必要です。私たちも大学の一人として、学生さんのサポートを精一杯行ってまいりますので、いつでも安心してご利用ください。

### 桐の葉日記

この度は、紫峰の風24号をお読みいただきありがとうございました。

花や緑を感じられる季節になり、これから始まる大学生活に胸を高鳴らせる新入生、新しい環境に期待を膨らませる私たち、多くの人の笑顔が満開となっている。どのサークルに入ろうか、どんなバイトを始めようか、そんな初々しい会話を耳にする度に、時間の経過をととても早く感じる。こちらはあまり心地よい時間の経過ではないが、新型コロナウイルスの拡大も、早いこと2年が経過し、現在もお猛威を振っている。気が滅入ることも多いが、散ってはまた咲く桜のように、日々小さな幸せを見つけながら、再び花開く日々が戻ってくるのを祈ることとしよう。

(文責/体育会執行委員会広報局長 石橋宗志・  
生物資源学類2年)

### 大学の風景



総合研究棟 D 前の桜

## 紫峰ギャラリー

こちらのコーナーでは、課外活動団体の日々の活動を写真を通して紹介しています。今回は体育会医学部会より、医学ソフトテニス部と医学バドミントン部の活動自粛前の試合の様子です。

なお、医学群生(全学年)は桐医体活動および全学の部活動への参加を全面的に禁止しております。

#### 医学ソフトテニス部

東日本医科学生総合体育大会での試合の様子



#### 医学バドミントン部

男子関東リーグでの試合の様子



### 第1期分授業料納付期日のお知らせ

2022年度第1期分授業料の納付期日が以下の通りとなります。口座引落の方は5月26日(木)までに指定口座へご入金下さい。また、引落口座を開設していない方へは振り込み用紙を送付しておりますが、原則として口座引落による納付としておりますので、第2期分以降は口座引落となるよう手続きをお願いいたします。

金額 267,900円(ただし、法科大学院は402,000円)  
引落日 5月27日(金) 納付期限 5月31日(火)  
■お問い合わせ 財務管理課出納担当(収入) 029-853-2161

筑波大学紫峰会基金WEBサイト  
<https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/shihokai/>



紫峰の風送付先変更の連絡はこちら  
E-mail: [renkei@un.tsukuba.ac.jp](mailto:renkei@un.tsukuba.ac.jp) 電話: 029-853-2030  
本号について、ご意見・感想をお寄せ下さい。

紫峰の風 第24号 2022年4月発行  
発行 事業開発推進室  
編集 学生部学生生活課  
学生広報会議  
(江波戸憧音・創成2年、宮西真杏・障害2年、富田寛人・工シス2年、桑澤玄・情報4年、佐藤祐人・人文3年、谷口萌香・芸専2年、石橋宗志・資源2年、青木美成・医学3年)  
学生広報部会  
(河原井かれん・人間総合群芸術P1年、高見沢仙美・数物群マテリアルP1年、村松真緒・社会4年、小林桃子・比文3年)  
タイトルロゴデザイン 塚本真理(芸専2016年度卒)  
〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1  
電話: 029-853-5886 E-mail: [gk.shihokai@un.tsukuba.ac.jp](mailto:gk.shihokai@un.tsukuba.ac.jp)

LINE 筑波大学通信  
在学生の保護者向けの情報をお届け!  
友だち→友だち追加→QRコードを選択し、カメラで右のQRコードを読み込む

# 筑波大学学士課程紹介(前編)

筑波大学は専門学群 2 つと 23 の学類を有する総合大学であり、その学びの幅広さは特徴の一つです。今回は各学類が何を学んでいるのか、その特徴と社会との繋がりについて当該学類生に聞きまとめてみました。全学類等を前編と後編の 2 回に分けて紹介します。後編は次号に掲載します。

## 教育学類

- \* 明治から受け継がれてきた「教育学の総本山」として、多様な学問領域から教育を深く学べます。
- \* 都道府県の教育界で働く人や、最先端の教育学研究の知見を活かして別の道を歩む人もいます。

## 社会学類

- \* 授業に対する興味だけでなく、取り上げられる社会問題や仕組みに対しての自身の意見を持つことが何より必要だと思います。
- \* 経済学の一部の授業では数 III を理解できる能力が必要です。

## 国際総合学類

- \* 国際という観点から 4 つの分野を学べます。
- \* ゼミを決める時期になると「総合」という名の通り、色々な分野の授業を受けられるが故、自分が何をやりたいのか迷ってしまう人もいます。

## 心理学類

- \* 人間の心と行動の関係を理論的かつ実践的に探求しています。
- \* 統計を始めとする数学的手法や神経学等の科学的知見に基づく学習・研究を主とし、様々な切り口から人間の心を解剖します。

## 人文学類

- \* 4 つの主専攻に分かれていて、地域や時代別に様々な講義が存在するため自分自身の興味関心に合わせて 1 つのことをじっくりと深く学ぶことができます。
- \* また、資格取得を目指す学生も多数います。

## 障害科学類

- \* 3 つの履修モデルがあり学生 1 人 1 人の興味に応じて、障害とは何か包括的に学ぶことも特定の障害について深く追求することもできます。
- \* 自由度が高く楽しい毎日です。

## 地球学類

- \* 多様な地球学的課題に対応した専門教育・研究を行うことができます。
- \* 充実したフィールドワーク教育が特徴で、日本国内のみならず海外において実験や演習に取り組む機会もあります。

## 生物学類

- \* 分子細胞生物学などのミクロな分野から生態学などのマクロな分野まで幅広く学べます。
- \* 野外フィールドを活かした実習に行くこともあります。
- \* 課題は多いかもしれませんが、充実した学びを得られます。

## 物理学類

- \* 量子力学をはじめとした現代の物理理論を学んで、宇宙やミクロの現象を解明するための基礎を学びます。
- \* 多くの学生は大学院で自身の専門の研究をします。

## 芸術専門学群

- \* 作品を制作するだけでなく、基礎理論についても学びます。また創作活動を専らにする領域もファインアートとデザインで大きく二つに分かれ、さらに細分化されます。
- \* 専門に分かれるのは 3 年次以降で、それまでは幅広く学べます。

## 生物資源学類

- \* 生態系に関する農林生物学コース、生物の機能を学ぶ応用生命化学コース、工学的な視点から学ぶ環境工学コース、農業と林業を取り巻く経済学について学ぶ社会経済学コースがあります。
- \* これらを幅広い視野を持てるよう、総合的に学んでいます。

## 知識情報・図書館学類

- \* 「図書館情報学」と呼ばれる情報資源の活用方法について学びます。
- \* 本の保存・管理から、デジタル上のデータベースまで幅広い分野に渡り、プログラミングから日本十進分類法までデータベースに関する事象を網羅しており、情報社会にて重要となる学びをしています。

## 比較文化学類

- \* 「現代性」と「学際性」の観点から多様な学びを行うことができます。
- \* 学生が各々の関心に基づいて柔軟な学修を進められ、それによって学生同士で積極的な「異分野交流」もなされているところが魅力です。

## 情報メディア創成学類

- \* コンテンツやメディアといった人間に近い情報技術について学びます。
- \* プログラミングは勿論、人間の知覚及び心理についても授業があります。
- \* 新しい技術・理論を生み出し、そして活用できるような人を目指しています。

## 芸術系サークル連合会活動紹介

### 芸サ連紹介

初めまして。第46期芸術系サークル連合会（以下、芸サ連）の運営委員長を務めさせていただくことになりました。大滝蒼天と申します。よろしくお願いたします。

運営委員会について少し紹介させていただきます。芸サ連運営委員会は、芸サ連に所属する各団体から1名選出される運営委員によって構成されており、芸サ連に所属する団体の運営や活動が円滑にできるよう、サポートする組織です。また、文サ連や体育会、大学と芸サ連をつなげる役割も果たしています。

筑波大学の芸術系サークル連合は、現在30団体で構成されており、軽音楽や吹奏楽、合唱などの音楽系、演劇やミュージカルなどの舞台系、さらに写真部や応援部など、様々なジャンルのサークルが所属しております。新型コロナウイルス感染症の影響で未だ発表や展示などの活動に制限がかかっていますが、少しずつ感染症拡大前までの活動に戻っていきつつあります。今後も感染症拡大防止対策を行いつつ、出来る限り精一杯活動して参りますので、ご支援、ご協力等よろしくお願いたします。

（寄稿／第46期芸術系サークル連合会運営委員長 大滝蒼天・知識情報・図書館学類2年）



### ギター・マンドリン部



第43回定期演奏会 2022年2月23日撮影

筑波大学ギター・マンドリン部は、マンドリン、マンドラ、マンドリンチェロ、クラシックギター、コントラバスなどの楽器による演奏を楽しむサークルです。マンドリンはイタリア生まれの歴史ある楽器で、その綺麗な音色は日本でも幅広い年齢層の人々に親しまれています。私たちのサークルも音楽が大好きな個性豊かなメンバーが在籍し、経験者も初心者も切磋琢磨しながら、学園祭や年一回の定期演奏会を目標に、日々活動しています。

近年は不定期に活動が制限されるなど大変な状況にも直面しましたが、その中でも出来る限りの活動に励み、今年の2月には、2年ぶりとなる定期演奏会を無事開催することができました。部員一同、今後も真摯に活動に取り組んでまいります。

（寄稿／筑波大学ギター・マンドリン部広報 佐藤祐人・人文学類3年）

### 筑波能・狂言研究会



2019年雙峰祭公演 5C棟にて『痺』2019年11月3日撮影

私たちは日本の伝統芸能である能楽の実演・研究・鑑賞を目的とするサークルです。未経験者には敷居が高いんじゃない？と思われがちですが、部員の大半が大学から始めています！私が思う能・狂言の魅力は、役を通していつもとは違う自分になれるところです（写真左が私：お使いが嫌で仮病を使う従者役）。ちょっとずるかったり、見栄を張ったり、昔も今も変わらない人間の性（さが）を知ることもできます。部員同士仲良く、普段はゆったりとした雰囲気、公演前は一致団結して活動しています。

大学から新しいことに挑戦したい、日本文化を知りたい、大きな声が出せるようになりたい（？）、という方、TwitterフォローやDM大歓迎です！部員一同、お待ちしております！

（寄稿／筑波能・狂言研究会代表 西村生・人間総合科学研究群 体育学学位プログラム2年）

### ジャグリングサークルSheep



活動自粛前のサークル練習風景 2019年撮影

こんにちは、筑波大学ジャグリングサークルSheepです。本サークルは、「ジャグリングを通して人と人との交流を深め、ジャグリングの面白さや楽しさを、1人でも多くの人に知ってもらいたい」とを目的に、学生たちが集まって練習をしたり、地域でのジャグリング教室やショーをしたりしています。コロナ禍でジャグリング教室やショーなど、私たちの練習の成果を見せる機会は少なくなってしまいましたが、ジャグリングは自分でも技の上達を実感できるという楽しさを持ち合わせています。いつの日かこれを読んでいる皆さまのところにも、ジャグリングの輪が広がることを願いながら、本日も練習に勤んでおります。

（寄稿／ジャグリングサークル Sheep 代表 小林隼・知識情報・図書館学類3年）

## 体育会活動紹介

### 体育会執行委員会紹介

はじめまして。筑波大学体育会執行委員会第46代委員長を務めております。障害科学類3年の久保田ちひろと申します。日頃より体育会へ様々なご支援やご声援をいただきありがとうございます。

私は、いわゆる「コロナ世代」の学生です。入学式や新歓イベントが直前でなくなり、授業もほとんどがオンラインでの開講になりました。もう入学してから2年が経ちましたが、未だ数えられるほどしか学校に通っていません。そんな中、「少しでも大学生活に彩りを」と思い立候補したのが体育会執行委員でした。委員長を務めることまでは想定していませんでしたが、他の委員の助けもありながら日々貴重な経験をさせていただいております。

私は、体育会執行委員となり、改めて筑波大学の体育会の凄さを感じています。競技の幅の広さ、レベルの高さはもちろんのこと、代々の先輩方が築き上げてくださったこの「体育会」という組織の素晴らしさを実感し、同時にこれを絶やしてはならないという責任も強く感じています。コロナ禍での活動は未知であり、正解を見つけるのがとても難しいです。今までと同じ形での活動はできなくても、目的や理想はぶらすことなく、より良い成果を導くために考え続けていきたいと思っています。第46代の委員長として、また一筑波大生として、有意義な時間を過ごせるよう日々精進していきます。

今後とも体育会への変わらぬご声援の程よろしくお願致します。（寄稿／体育会執行委員会委員長 久保田ちひろ・障害科学類3年）



### 漕艇部



第48回全日本大学選手権の様子 2021年10月28日撮影

こんにちは、漕艇部です！普段は朝、霞ヶ浦に行ってボートを漕いでいますが、大会前や長期休みになると埼玉にある合宿所に行って練習します。合宿ではボートの練習はもちろん、部員で協力してご飯を作ったり、練習の合間にはゲームやおしゃべりをしたりともうめちゃ楽しいです。また、ウエイトトレーニングではパーソナルトレーナーの先生が直接指導して下さるため、筋肉をつけて美しい身体を目指したい方にもおすすめです！それぞれの人柄もありいい意味で先輩後輩の壁が無く、部員全員が各々のペースで活動に参加しています。「経験がないから始めるのが怖い」と思っているその新入生！ボートは競技人口が少ない上に大学からボートを始める人も多いため（筑波大はほとんどが大学から）。みんなゼロからのスタートだから始めやすいし、大学から始めて全国を目指すことができるのもボートの魅力です！

（寄稿／漕艇部 永井沙紀・障害科学類2年）

### アーチェリー部



関東学生アーチェリーリーグでの試合の様子 2021年9月12日撮影

こんにちは！アーチェリー部は基本的に週3回の練習を行なっています。部員数は現在9名と非常に少ないので、体育会でありながら、とてもアットホームな雰囲気です。

アーチェリーの魅力はここでは全てお伝えすることができないほど沢山ありますが、私が特に皆さんにお伝えしたいのが「スタートラインがみんな一緒である」という点です。アーチェリーは大学から始める人がほとんどです。新入部員は、同学年として支え合い競いながらレベルを上げていくことができます。

また、高校までの部活動とは異なり顧問の先生が付きっきりで指導してくれることはないのです。自分のスキルアップは頼れる先輩たちの指導や自主練に委ねられます。その分自分の成長が目に見えてわかるのでやりがいを感じることができます！

的の中心に当たった時の快感は何事にも変えられません！少しでも興味を持った方はいつでも遊びに来てください！お待ちしております。

（寄稿／体育会アーチェリー部 三上陽彦・人文学類2年）

### オリエンテーリング部



秋インカシでの集合写真 2021年11月21日撮影

オリエンテーリングとは、森や公園などのフィールドに設置された各ポイントを指定された順番通りにどれだけ早く通過できるかを競うナビゲーションスポーツです。この競技の醍醐味は、雄大な自然の中をコンパスと競技専用の地図、そして自身の知力・体力のみを頼りに自分の好きなルートを駆け抜けることができる「自由」な競技性にあります。その競技性に惹きつけられ、部には自然好きな方、地図好きな方、走るのが好きな方など多様な部員が集まっており、それぞれが自分の好きな向き合い方でオリエンテーリングを楽しんでいます。

（寄稿／オリエンテーリング部主務 中井健介・社会学類3年）

## 全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議活動紹介

新入生の皆さん、筑波大学へのご入学おめでとうございます。ご家族、保護者の皆様におかれましては、この度はおめでとうございます。私は令和3年度全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議（以下、全代会）議長をしており、知識情報・図書館学類3年の森本ひのきと申します。

さて、新入生の皆さんはこれから始まる大学生活へ期待に胸を膨らましているところだと思います。人生の夏休みとも言われる大学生活は、自分がやりたこと、興味のあることに何にでも挑戦することができる期間です。自分の思い通りの夏休みを過ごしてもらいたいものです。これから、全代会という学生組織について紹介します。人生の夏休みを彩る一つのスパイスとして、一緒に全代会で活動してみたいかをご紹介します。この紹介文が皆さんの選択肢の一つになることを願っています。

全代会とは、筑波大学の生徒会のようなものです。各学類・専門学群・総合学域群から選出された代表者等によって組織され、大学生活をよりよいものにするために、筑波大学をよりよい大学に創り上げていくために活動しています。例えば、昨年度は学生宿舎におけるネットワーク環境の改善についての要望や、学食のアレルギー表示に関する要望、オンライン授業についての副学長・教職員との意見交換会などを行いました。全代会では本会議と呼ばれる会議を開き、そこで意思決定を行います。この本会議での議決は、全代会構成員が各学類等の代表であることから、筑波大学の学生の総意として扱われます。

先にお話したネットワーク環境の改善や学食のアレルギー表示に関する要望も、学生が困っているという情報を拾い上げ、本会議で審議したのち、要望書として大学に意見を伝えました。その結果、宿舎のネットワークが改善されたり、学食にアレルギー食品についての掲示物が設置されました。本会議以外にも、その時々で学生が望んでいることを叶えるために、様々な活動を行っています。オンライン授業に関する意見交換会もその一つです。オンライン授業では学生の意見が教員に伝わりづらいという問題があります。そこで意見交換会を通じて全代会が学生を代表して学生の生の意見を伝え、大学側へ働きかけを行いました。

このように、全代会は学生の利益・権利を守るために活動しています。これからも全代会では大学生活を豊かにし、より彩あるものとするために、引き続き努力してまいります。保護者の皆様におかれましては、今後とも全代会の活躍を温かく見守っていただけますと幸いです。

（寄稿／全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議議長 森本ひのき・知識情報・図書館学類3年）



## 広報委員会

広報委員会は全代会の広報及び委員会の活動報告と、学生にとって有益な情報を、より多くの学生に届けることを目的として全代会の広報誌「Campus」やほかの委員会から依頼を受けたポスターの制作やTwitterでの情報発信を行っています。広報委員は「Campus」の取材と記事執筆をメインに行う編集部と「Campus」の表紙デザインとポスターの制作をメインに行う制作部に分かれて活動しています。

長きに渡るコロナウイルスの蔓延に伴い、大学における対面での活動が大幅に減少してしまったことにより、全代会の認知度や「Campus」の広報力は落ち込んでしまいました。そこで「Campus」をより手に取ってもらいやすくするため、写真や図を多く取り入れ、より視覚的なものへと刷新しました。また、フルカラー版「Campus」を作成し、全代会のホームページにて公開するという試みも始めています。更には、1月31日、2月1日に全代会運営の下行われた第5回食糧支援事業では、様々なポスターの作成、活動としては初めてとなる動画の作成、そしてそれらの情報の拡散を行いました。

新たな試みの多い一年となりましたが、確かな手ごたえを感じる

ことが出来ました。2022年度も全代会のより一層の周知に向けて多くの学生に全代会の広報や有益な情報を提供できるよう活動していく所存です。どうぞよろしくお願ひ致します。

（寄稿／全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議広報委員会委員長 江波戸憧音・情報メディア創成学類2年）



広報委員会ミーティングの様子 2022年3月撮影

## 文化系サークル連合会活動紹介

### 文サ連紹介

はじめまして。第47期文化系サークル連合会（以下、文サ連）の運営委員長を務めております、岡澤卓弥と申します。筑波大学の文化系サークルは一口に文化系と言いつてもその活動内容は非常に多様です。学問的な活動、伝統的な活動、教育的な活動、創作的な活動…と、各団体が様々な活動を行っています。そして、コンテストや発表会に出場したり、日々新しいものに挑戦したりとそれぞれの団体が各々の目標に向かって日々研鑽しております。



文サ連はそのような団体が円滑に活動を行えるよう運営されている組織です。具体的には会議室や印刷機の管理、イベントの企画、広報誌Circle Networkの製作、会計業務の支援や、活動状況を基にした面談などといった業務があり、これらを局ごとに分担して行っています。また、ご協力者様からの大切な寄付金も支援金として文化系サークル連合会が適切に配分しております。我々がこのように充実した活動ができるのは皆様のご支援あってのものです。この場をお借りして感謝申し上げます。最後になりましたが、新入生の皆様は是非サークルに所属し、交友関係や自分の探求心を深めることで良き学生生活を送られますよう文サ連一同心から願っております。

（寄稿／第47期文化系サークル連合会運営委員長 岡澤卓弥・知識情報・図書館学類2年）

### 筑波大鉄研「旅と鉄道の会」



公式旅行の様子 2021年7月18日撮影

筑波大鉄研「旅と鉄道の会」（通称：たびてつ）は、鉄道をはじめとした様々な交通手段を利用して、年に数回旅行に出かけることを主な目的として活動しています。鉄道の愛好家だけでなく、旅に関する様々な事柄に興味を持った学生が集まっています。普段は、毎週火曜日にミーティングを行っています。

公式旅行では、各会員が先行の候補を持ち寄り、プレゼンテーションをした後、投票で先行を決めていきます。また、不定期で有志会員による旅行も実施し、互いに親交を深めています。新型コロナの影響で、泊りがけの旅行ができなかったり旅行回数が減ってしまったりしていますが、また元通りの活動ができるようになることを願っています。

このほかにも、鉄道やバスについての研究や、模型運転会などを行っています。学園祭では鉄道模型のレイアウトも披露する予定ですので、ぜひお立ち寄りください。

（寄稿／筑波大鉄研「旅と鉄道の会」会長 竹内真雄・社会工学類3年）

### 歴史探訪会



鎌倉・円覚寺にて 2021年11月26日撮影

こんにちは！歴史探訪会です。本サークルは毎月1回日帰り長期休暇には2泊3日の探訪を行っています。この探訪ではサークル名の通り主に歴史の名勝地や史跡を訪れ、歴史に関する見識を深めることを目的としています。一昨年度はコロナ禍の状況で探訪を行うことがほとんどできませんでしたが、昨年度は日帰りの探訪は徐々にできるようになりました。写真は昨年11月に鎌倉の円覚寺を訪れた際のものでした。

また探訪以外の活動では、週2回のミーティングを行っています。ミーティングでは探訪を行えるようになったときのための探訪計画の策定や会員それぞれが行きたい場所を持ち寄りプレゼンを行っています。まだまだコロナ禍が収まらず例年通りの活動は難しいですが、そのような状況でもできることをサークルの活動や会員同士のつながりを絶やさず励んでいきたいと思っています。

（寄稿／歴史探訪会代表 渡辺耕太郎・国際総合学類3年）

### 漫画研究会



コミックマーケット99での設営の様子 2021年12月31日撮影

漫画研究会はオリジナル漫画を制作するサークルです。会員が制作した漫画を集めて年に数回会誌を発行し、創作活動の成果として共有することが主な活動です。また、毎年コミックマーケットに参加して会誌を頒布しています。2021年末には東京ビックサイトで2年ぶりに開催されたコミックマーケット99に参加することができました。会誌発行の他にも原稿合宿や不定期の漫画にまつわる企画もあり、コロナ禍において学群・学年を超えて交流できる貴重な機会となっています。文化系サークル会館にブースがありますが、現在は火曜日と木曜日の放課後Discord上で活動しています。オンラインツールを利用して原稿データをデジタルで統一することで、運営の効率化と感染対策を実現させた上で活動しています。

（寄稿／漫画研究会代表 鷗田佐季・芸術専門学群3年）

## 医学部会紹介

### 医学部会執行委員会紹介

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これからの大学生活に胸を躍らせている一方で、新しい環境への戸惑いや不安な気持ちを抱えていることだと思います。様々な人との出会いやたくさんの楽しいこと、時にはつらいことがあるあなたの大学生活に彩りを与えてくれるに違いありません。そんな大学生活を部活動という面から支えているのが体育会執行委員会です。この体育会執行委員会の下に設置されているのが医学部会執行委員会であり、医学部会に所属している課外活動団体の運営がスムーズに行われ、大会で良い成績を残せるようサポートしています。構成員は委員長、副委員長、広報局長、総務局長、会計局長、財務局長、書記局長の計7人です。仕事内容としては、総務局長であれば部の代表者が集まる会議の進行や資料作成をしたり、会計局長であれば各団体から領収書を受け取って医学部会の支出を管理したりといった仕事があります。

現在はコロナウイルスの影響で医学部会の活動を自粛しているため、医学部会執行委員会の主だった活動はありませんが、医学部会の活動が再開した時に円滑に活動ができるように委員一同、至らない点もあると思いますが、しっかり頑張りますので今後ともよろしくお祈りします。

(寄稿/医学部会執行委員会委員長 今井志築・医学類2年)

### 医学アイスホッケー部



東日本医科学生総合体育大会優勝時の集合写真 2019年12月30日撮影

医学アイスホッケー部は現在プレイヤー16人、マネージャー9人の総勢25人で活動しており、主に火曜木曜の週2回、氷上練習をしています。それに加え全学アイスホッケー部や女子アイスホッケー部の練習に参加したり、陸上でのトレーニングやウエイトトレーニングなどを行ったりして、チーム力向上に向け活動しています。

最近のコロナ禍では、氷上練習の代わりに陸トレやウエイトを増やすなど工夫して練習しています。また、プレイヤーとマネージャーとの仲が良いところや、遊ぶ時は全力で遊び、氷上では真剣に練習するといったメリハリのあるところが当部活の特徴です。去年、一昨年と開催できていませんが、前回大会である2019年の東日本医科学生総合体育大会(以下、東医体)では、全勝優勝を果たすことができました。今年も東医体連覇を目標に部員一同、邁進していきますので応援よろしくお祈りします。

(寄稿/医学アイスホッケー部副代表 三好虎大朗・医学類5年)

## 文サ連企画記事「工学」

筑波大学には様々な団体がありますが、今回はその中でも工学に関わりを持つ3団体をピックアップし、

- ① 活動におけるやりがい ② 一番自慢できること ③ 団体内の雰囲気  
という質問をしました。

### 電気通信研究会

①電波は地球の反対側まで届きます。交信を行ったポーランドやチェコ、北極といった様々な地域の方々から交信証明のQSLカードを受け取ったときは非常に達成感があります。

②開学以来40年以上の歴史を持ち、今までのOBのみなさんが残して下さった高度で豊富な機材の数々により幅広い活動ができることが私たちの自慢です。

③活動日に集まると、各々が無線交信や電子工作、ネットワークといった興味のある活動を自由に進めています。また、大会に向けて皆でモールス信号の練習もしています。  
(寄稿/電気通信研究会会計 牛尼索造・情報科学類3年)



交信証明のQSLカード

### 宇宙工学研究会

①弊会は、工学やものづくりに関する活動を主としているので、新しい知識・技術を身に付ける時は面白く感じますし、機械や装置、作品などが完成した時は達成感が得られます。

②文サ館・工作室といったスペースや、多数の工作機械・工具を所持しており、工作に集中して取り組める環境があるのが、弊会の強みだと考えています。

③弊会では、会員の活動内容に特段制限がなく、各々が興味を持った分野に取り組んでいるので、非常に自由な雰囲気があるほか、各人の経験を共有して多様な分野に触れられる事を目指しています。  
(寄稿/宇宙工学研究会会長 國分潤・工学システム学類3年)



工作機械を使用している様子

### つくば鳥人間の会

①私たちの活動でやりがいを感じる瞬間は、試験飛行で機体が浮いた時です。1年近くかけて作っている機体なので、飛んだ瞬間それまでの苦労が報われてとても感動します。

②一番自慢できるのは、プロジェクトの規模の大きさです。1年間綿密に立てたスケジュールに沿って、機体を作ります。また完成した機体も全幅30メートルを超え、飛ぶ姿は圧巻です。

③作業は学年の隔たりなく和気藹々とした雰囲気です。先輩から後輩へ製作方法を教えることもあります。手先が器用な人が細かい部分の製作をしたりと、個々が得意を生かして活躍しています。  
(寄稿/つくば鳥人間の会代表 森瑛一朗・工学システム学類4年)



試験飛行で浮いた機体

## 令和3年度 課外活動団体援助金系別配分額について

令和3年度課外活動団体援助金の総額は2,130万円で、2月18日の筑波大学紫峰会基金運営委員会にて通常活動に対する一般援助金を1,150万円、宿泊交通費に対する遠征援助金を980万円とし、系別配分額が承認されました(下表参照)。

系別配分額は全課外活動団体から提出された過去1年間の収支計算書を三系それぞれで査定・集計し、学生財務会議(文化系サークル連合会、芸術系サークル連合会、体育会、全代会の代表者で構成)で議論・作成したものです。

その後、全ての課外活動団体(136団体)に対して課外活動団体援助金を支給しました。

### 令和3年度 筑波大学紫峰会基金課外活動団体援助金系別配分額

(円)

		文サ連	芸サ連	体育会	合計
援助金総額	援助金総額	1,603,566	1,911,327	17,785,107	21,300,000
	総支出	11,861,535	29,090,474	195,357,026	236,309,035
一般援助金	援助金額	1,258,500	1,715,289	8,526,211	11,500,000
	総支出	9,834,950	27,847,925	135,644,580	173,327,455
遠征援助金	援助金額	345,066	196,038	9,258,896	9,800,000
	総支出	2,026,585	1,242,549	59,712,446	62,981,580

## 令和3年度 課外活動団体援助金額ランキング

筑波大学紫峰会基金では、毎年三系の加盟団体に対して課外活動団体援助金を支給しています。この援助金は団体が過去1年間に活動した実績に対するもので、学生が中心となって配分額を作成しています。

課外活動団体援助金支給までの流れ

- ①各団体の会計がその団体の1年分(10月~9月)の収支計算書と領収証等を三系の財務局に提出
- ②筑波大学紫峰会基金運営委員会で課外活動団体援助金の予算額を決定
- ③各系の会計局を中心に提出された収支計算書と領収証等を査定し、折衝用の基礎資料を作成
- ④三系代表学生の自主的な折衝(学生財務会議)を経て系別配分額案を作成
- ⑤筑波大学紫峰会基金運営委員会で系別配分額案を承認
- ⑥系毎に加盟団体別の援助金額を決定
- ⑦課外活動団体援助金を全団体に支給

なお、各団体の援助金入金確認と利用状況については、毎年全課外活動団体に対して実施している会計面接の中で確認しています。今回は3月末に援助対象の136団体へ支給しました。令和3年度課外活動団体援助金(総額2,130万円)の中で、援助金額の多い上位10団体を紹介します。

### 令和3年度 課外活動団体援助金額 TOP10

(円)

順位	文化系サークル連合会	芸術系サークル連合会	体育会	体育会医学部会
1	海洋研究会 346,261	管弦楽団 499,233	ラグビー部 2,410,432	医学ヨット部 103,613
2	つくば鳥人間の会 132,974	津軽三味線倶楽部無絃塾 178,774	硬式野球部 1,979,512	医学サッカー部 40,249
3	斬桐舞 131,728	吹奏楽団 143,415	蹴球部 1,479,985	医学水泳部 38,872
4	TOJO K-ON 86,183	E.L.L(筑波軽音楽協会) 124,174	女子サッカー部 1,168,971	医学ソフトテニス部 34,240
5	天文研究会 60,714	カバカルDoo-Wop 71,961	陸上競技部 1,047,536	医学陸上競技部 29,041
6	将棋部 38,208	競技ダンスサークル 舞研 65,473	男子バレーボール部 782,065	医学ラグビー部 26,691
7	歌留多部 36,257	混声合唱団 62,576	女子バスケットボール部 683,463	医学卓球部 25,567
8	T.A.S.C. 35,458	つくばフォーク村 50,620	女子ハンドボール部 565,347	医学バスケットボール部 25,079
9	歴史探訪会 35,357	ジャズ楽団 49,486	馬術部 540,340	医学ハンドボール部 25,061
10	社会福祉研究会 34,892	ミュージカル集団ESSASSA 46,768	バドミントン部 536,487	医学剣道部 25,047
全35団体合計 1,603,566		全30団体合計 1,911,327	全53団体合計 17,211,647	全18団体合計 573,460